

牧之原市菊川市学校組合教育委員会 会議録

令和6年10月24日、牧之原市菊川市学校組合教育委員会が牧之原小学校会議室に招集された。

この委員会に付議するため、委員長の告示した議案は次のとおりである。

付議議案

報告第7号 牧之原市菊川市学校組合教育委員会後援名義使用の許可について

報告第8号 牧之原市菊川市学校組合補正予算(第1号)について

報告第9号 令和6年度第2回就学支援委員会について

議案第4号 小中一貫教育のあり方に関して牧之原小中学校運営協議会に意見を求めることについて

出席委員

1番	橋本 勝	事務局	教育文化部長	竹内英人
2番	近江賢市		学校教育課長	中村元信
3番	八木香代子		社会教育課長	永野智芳
4番	永田康彦		大河活用推進室長	八木康仁
5番	山本和波		学校再編推進室長	小塚康道
			学校再編推進係長	石川奈美
			教育コーディネーター	大石友巳
			教育総務課課長	永野智芳
			教育総務課主幹	日野剛久

開会時刻 午前10時12分 牧之原小学校 会議室

教育長挨拶

秋も日一日と深まり、夜長の頃となった。今定例会は、牧之原小学校での開催ということで、委員の皆様には授業参観を通して様々な感想等をいただき、感謝申し上げます。令和6年度も後半となり、学びの充実期に入った。学習や運動、学校行事など、小・中が連携し、牧之原地域での教育をさらに推進してほしい。

先週は、20年も前から小中一貫教育に取り組んでいる先進地を教育委員の皆様と訪問し、視察先3校の特色ある学校施設と教育内容を確認することができた。今後牧之原小・中学校の教育を充実・発展させていく上で、大いに役立ったと思う。

会議録署名人の決定（事務局より指名）

橋本教育長と近江委員を指名

教育長報告

令和6年7月19日から令和6年10月23日までの主な行事について報告があった。

報告第7号 牧之原市菊川市学校組合教育委員会後援名義使用の許可について
（事務局より説明）

質疑・意見なく、承認された。

報告第8号 牧之原市菊川市学校組合補正予算(第1号)について
（事務局より説明）

意見の後、承認された。

近江委員 先日 の 視察 の 際、 トイレ の 重要性 を 認識 した。 以前 から 放課 後 児童 クラブ の トイレ の 問題 等 聞いて いた ので、 あり が たい。

報告第9号 令和6年度第2回就学支援委員会について
（学校教育課長より説明）

質疑・意見なく、承認された。

議案第4号 小中一貫教育のあり方に関して牧之原小中学校運営協議会に意見を求めることについて

（学校再編推進係長より説明）

質疑・応答の後、承認された。

近江委員 牧之原市民はこれまでの流れの中で、義務教育学校2校になっていくということを知っていると思うが、菊川の方は知らないと思う。その点を配慮していただき、丁寧な説明が必要だと思う。

学校再編推進係長 第1回の中で、学ぶ時間を設け、牧之原市や国の状況や流れを説明する予定である。

近江委員 了解した。理解するのには時間が必要かと思うので配慮を。また、視察の計画はありがたい。資料で見るのと実際に見るのでは全然違う。視察先の予定は？

事務局 川根本町で、今年から義務教育学校になった三ツ星学園を考えている。

教育コーディネーター 旧中川根中と隣接した中川根中央小を活用している学校である。

八木委員 資料2ページ(3)内の運営協議会委員と教職員のグループワークとは、どういったもので、どれくらいやっているのか？

学校教育課長 学校運営協議会本来の目的を果たすために、学校の先生方との連携が大事という認識が高まっており、市内の他校でもやり始めている

が、委員と先生と一緒に未来の学校について語ったり、今行っていることを話あったりしている。

教育コーディネーター 今年初めて実施し、今後、毎年定例にしていく予定である。

八木委員 その場合、教職員は全員参加か？

学校教育課長 基本的には全員参加となっている。

教育長 各学校も、その必要性を感じており、やり始めたところである。

近江委員 先行モデルとして、早期に新しい形を実現したいと思っている。山口の学校では、小学校と中学校の枠については、先生方にそれぞれ思いや染みついているものがあり、それを乗り越えて変えていくのは、やってみないとわからない部分があると思っている。やってみて初めて身に染みて変わっていくことがあると思う。そういう経験をした先生が増えることが、今後できる義務教育学校にも良い栄養になると思う。先行してやっていくことはうれしいと思っている。

八木委員 先生方の意見が反映されるような学校がいいなと思う。視察に行つて、教頭先生が、落ち着いたのなかった1年生が、横に6年生がいるようにしたら、落ち着いたという話があつて、小学生と中学生の交流が多い学校が良いなと思った。

永田委員 先日の小学校の運動会でも、低学年を6年生がフォローしている印象があつた。それが一貫教育にすることによって、小学1、2年生ぐらいの幼い子供たちを、半分大人になりかけている中学3年生が面倒を見るというのが、人間性を育むためにも良いと思う。1年から9年生までつながりを持ってやることを大事にしたいと思う。

山本委員 自分は子どもが通学していることもあるため、なるべく早くやった方が良いと思っている。今日の参観でも4年生ぐらいから授業を受ける態度が変わってくるので、4-3-2制が改めていいんじゃないかと感じた。また、校長先生の話の中で不登校が、規模の割に多いと思ったが、そうしたことも一貫になれば単学級であることに変わりはないが、上下のつながりの中で、色々な人と接することで、もしかしたらそういった子も減るかもしれないと思ったので、ぜひやってほしいと思っている。

近江委員 意見を求める文書を元に運営協議会の会長から指示が下りていくということで良いか。

学校再編推進係長 この文書をもとに運営協議会で協議いただき、部会を設置して、議論をしていくという流れになる。

八木委員 学校運営協議会の委員の方の立場がどのような方がいるのか？

学校再編推進係長 学校運営協議会の規則では、保護者の方、地域の方、コミュニティスクールディレクターが入っている。

学校教育課長 保護者の方が3名ほどおり、あとは地域性を見ながら学校で選出している。

事務局 元PTA会長らが入っている。

閉会（閉会時刻 午前 11 時 55 分）